



とにかく  
ソフトボールを楽しんで

今できることを

一日一日大切に

■大崎ソフトボール少年団練習始式

松山、榎田両選手  
後輩を激励

大崎ソフトボール少年団の練習始式が1月3日（木）、町研修センターグラウンドで行われました。

練習始式は、社会人や大学、高校などで活躍する同少年団出身の選手らが後輩を激励する年始の恒例行事。

同少年団OBで広島東洋カープの松山竜平選手と阪神タイガースの榎田大樹選手も駆けつけました。

団員、OB、育成会員など参加者全員で円陣を組み、主将の篠田大聖君の音頭で三本締めを行いました。

OBを代表して、松山選手と榎田選手が団員らを激励しました。

松山選手は、「とにかくソフトボールを楽しむこと。楽しむこ

とが、団員加入やチームの勝利につながる。」

榎田選手は、「昨年のケガで五体満足で野球ができる幸せを感じた。今できることを一日一日大切にしてほしい。」と後輩にエールを送りました。

その後、団員らは、学年ごとに設定された飛距離を狙うホームラン競争を行いました。

最後に参加した松山選手は、グラウンドを超えるホームランを放ち、団員や参加者を驚かせました。

「ここが自分の原点」と口を揃える両選手。この練習始め式には、学生時代から毎年参加しています。こうした活動が少年団員らのプロ野球選手への夢を近い存在へ導いていきます。

2人は、「チームの勝利に貢献したい。」と今年の活躍を誓っていました。

